

平成29年度決算の概況

(1) 総括事項

平成29年度においては、平成28年3月に策定した「岡山市下水道事業経営計画2016」に基づき、建設改良事業では未普及対策や浸水対策、耐震・長寿命化対策などのハード対策事業を計画的に実施しました。

浸水対策については、平成29年4月に施行した「岡山市浸水対策の推進に関する条例」に基づき平成29年10月に「岡山市浸水対策基本計画2017」を、平成30年3月に「岡山市浸水対策行動計画2018」を策定しました。これらに基づき、下水道や河川等の整備のみならず、自助・共助の促進など市民・事業者と連携した浸水対策を進めることとしており、市民が設置する雨水貯留タンクへの助成を開始しました。

今後とも、「岡山市下水道事業経営計画2016」に基づき持続的・安定的な運営を行い、市民の生活環境や水環境の改善、浸水被害の軽減を図り、快適で安心・安全なまちづくりへ貢献していきます。

ア 下水道の普及状況

| 事 項 | 平成29年度 | 平成28年度 | 増 減 | 対前年度比 (%) |
|--------------------------|---------|---------|-------|-----------|
| 処理区域内人口 (人) | 479,957 | 475,319 | 4,638 | 101.0 |
| 汚水処理戸数 (戸) | 155,559 | 152,570 | 2,989 | 102.0 |
| 年間有収水量 (千 m^3) | 52,408 | 51,943 | 465 | 100.9 |
| 普及率 (%) ※1 | 66.8 | 66.1 | 0.7 | — |

※1 以外は農業集落排水事業を含む。

イ 建設改良事業

a 未普及対策

① 污水管幹線工事

旭川以西の児島湖流域下水道関連処理区においては、笹ヶ瀬左岸幹線の整備に、旭川以東の岡東処理区においては、上道幹線の整備に取り組みました。

② 面的整備工事

庭瀬・妹尾・撫川・久米・横井上・檜津地区など旭川以西の児島湖流域下水道関連処理区などの整備や、江並・今在家・東平島・神下・乙多見・西大寺射越地区など旭川以東の岡東及び吉井川処理区などの整備に取り組みました。

b 浸水対策

浸水被害の軽減を図るため、浦安排水区等の雨水渠整備に継続的に取り組むとともに、芳田排水区の水取ゲートの増設を行いました。また、ゲリラ豪雨に対する初期対応の迅速化を図るため、津島地区ゲートの遠隔操作化に取り組みました。

c 耐震化・長寿命化対策

国の長寿命化支援制度を活用した岡東浄化センター、旭西排水センター及び笹ヶ瀬ポン

プ場などの改築更新に取り組みました。

また、老朽化した管きよの更生工事及び重要な幹線管きよの耐震診断にも取り組みました。

ウ 維持管理

本年度は約6,200万 m^3 の汚水を処理するとともに、市街地の雨水を排除しました。処理場やポンプ場においては日常の管理の中でコストを意識した運転を行うとともに、点検や整備、修繕を計画的に行いました。また、管きよについても計画的に点検調査を行うとともに、清掃や修繕を行いました。

エ その他の取り組み

平成29年9月に「下水道施設にかかる大規模災害時の支援協定」を関係団体と締結し、平成30年1月には関係団体も参加した上で下水道BCP訓練を実施しました。

また、下水道のPR活動として、「魅力・信頼・サービス向上推進班」において「夏休み親子下水道教室」を初めて開催し、施設見学、おもしろ実験教室を行いました。また「広報戦略推進班」において地元トップスポーツチームのロゴをあしらったデザインマンホールを他部局と連携し設置しました。

オ 財政状況

本年度の財政状況については、収益的収支では、事業収益19,600,024千円に対し、事業費用19,600,024千円で、この結果、収支差引0円となりました。

次に、資本的収支では、収入額19,828,352千円から翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額262,923千円を除くと、当年度の収入が19,565,429千円、これに対する支出額26,038,478千円となり、この結果、収支差引6,473,049千円の不足額を生じましたが、内部留保資金などで補てんしました。

以下のグラフは下水道事業の決算状況を性質別に示したものです。

